

**【NEWS RELEASE】**

2019年9月30日

各 位

株式会社三井住友銀行

**中央総業株式会社の「SMBC働き方改革私募債」買受けについて**

株式会社三井住友銀行(頭取CEO:高島 誠)は、中央総業株式会社(代表取締役社長:原 健一)の発行する「SMBC働き方改革私募債」を買受けいたしました。

「SMBC働き方改革私募債」は、私募債買受け時にお客さまの働き方改革推進の取組状況を独自の基準で“見える化”( )し、その結果をご提供するとともに、今後の更なる取組推進に向けた情報提供を行う商品です。

今回対象となりました、中央総業株式会社に対する診断結果は、今後、働き方改革が期待できる「働き方改革のグロース企業」となりました。

特に、中央総業株式会社では、以下のような取組と実績を有しておられます。

グループウェアを導入し、伝言メモやチャット機能等を活用することで、社員間のコミュニケーションの円滑化・業務の効率化につながっている

今年度より昇格(役職手当)の基準を明確に定め、全社員に共有することで会社の考え方を社員一人ひとりが理解しやすい環境整備を進めている

さらに同社では、今後の更なる働き方改革に向け、経営トップが、「年齢にとらわれない多様な人材の活躍により労働生産性の向上を実現する」と宣言し、具体的な取組の進化に向けた目標として、「2020年までに時間外労働を2018年から10%削減する」とコミットしておられます。

三井住友銀行では、「SMBC働き方改革私募債」により、お客さまの働き方改革に向けた取組を、金融を通じて応援してまいります。



グループウェアを活用した  
業務効率化の取組



独自に実施している  
新卒社員向け研修



管理職を対象とした  
生産性向上に向けたリーダー会議

( ) “見える化”については、基準の客観性および信頼性を確保するため、本分野で豊富な知見を有する株式会社日本総合研究所(代表取締役社長:谷崎 勝教)に業務を委託しております。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。